

メディサイエンス・エスポア/PQラボ BSL2 のご紹介



実験室施設 バイオセーフティ レベル (BSL) とは

実験室で取り扱う病原体等を封じ込めるための施設・設備の設

置を規定するもので、取り扱う病原体のレベルによって実験室の

レベル (BSL) を 1 から 4 に規定している。

人や動物に感染しない微生物はレベル 1 で扱えるが、感染する

微生物 (病原微生物) はレベル 2 以上の施設で取り扱う。

レベル 3 以上の病原体は陰圧にした実験室で取り扱う。もっと

も危険な病原体はレベル 4 で扱う (我が国には稼動しているレベ

ル 4 の実験室はない) 。

MSE/PQ ラボの施設 (レベル 2)

安全キャビネット (一次封じ込め設備)



病原体 バイオセーフティ レベル (BSL) とは

実験室で取り扱う病原体について、人や動物への感染リスクからレベル (BSL) *を1から4まで規定している。

レベル1は人や動物に病気を起す見込みの無いもので、人や動物感染する微生物 (病原微生物) はレベル2以上となる。レベル2は人や動物に感染するが、重大な健康被害を起こす見込みが無く、感染しても有効な治療法、予防法があり、関連者が感染するリスクが少ないもの。

もっとも高いレベル4の病原体は人や動物に重篤な病気を起こし、関連者への伝播が起こし、治療法がないもの。

ちなみに感染症予防法に基づく特定病原体の区分はBSLと異なり、1 (種) がもっとも危険なものとなる。 *最近では「リスク群」と称している。

MSE/PQ ラボで扱う病原体 (BSL 2)

抗菌試験及び無菌試験 ブドウ球菌

抗菌試験及び無菌試験 大腸菌



MSE/PQ ラボの施設・設備と個人防護具

(病原体を扱う場合)

設 備

安全キャビネット (Class II A)

高圧蒸気滅菌器

超低温冷凍庫

遠心機、フラン器

排水処理設備 (消毒処理)

個人防護具 (PPE)

実験着

帽子

マスク

その他の事項

実験室安全操作指針の順守

実験中は関係者以外の実験室内立ち入り禁止



MSE/PQラボのテーマ

化粧品

無菌試験

温度苛酷試験

新素材の研究

医薬部外品

新素材の研究・開発

抗菌剤の効果・効能試験

有効性持続試験

* 当面、病原体を取り扱う試験は予定して
ない



ご静聴有難うございました
今後ともよろしくお願ひ申しあげます